

平成30年11月14日(水) 校内研究 話題提供授業と協議

6年生 総合的な学習の時間



6年生は、「アート」というテーマの下、それぞれのクラスで自分たちのどんな思いを表現したいのかを話し合い、さまざまなジャンルの中から浮世絵を学習材に選び学習を進めています。

ゲストティーチャーから助言をもらいながら、浮世絵のもつ奥深さや浮世絵らしさとはどのようなことかについて考え、松仙小学校の良さを表した風景画を作成しています。この授業では、教えてもらった「浮世絵らしさ」を自分たちの風景画にどのように反映させるかを話し合い、下書きの修正を始めました。自分たちの思いや浮世絵らしさを、うまく合わせて表現するために試行錯誤をする姿が印象的でした。



授業後は、自分の意見を付箋に書いて5～6名のグループで交流したり、全体で意見を出し合って議論を深めたりしました。今回は、子供たちの思いと浮世絵らしさの両立、話し合いの方法などが話題となりました。

その後、文部科学省の渋谷一典教科調査官から、対象(浮世絵)そのものの知識・技能を子供たちがどのように活用していくのかを明確にして授業を進めていけば、新学習指導要領の内容に近づけることや、新たに学んだことを既に知っている知識と結びつける場面を意図的に設定すると子供たちの知識の質の向上につながるなどについてご指導いただきました。